

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担）研究報告書

神奈川県におけるがん対策の進捗評価と国との連携方法の検討

研究分担者 片山 佳代子 神奈川県立がんセンター臨床研究所 主任研究員

研究要旨

本研究では、大阪、沖縄、青森県 のがん対策進捗指標に関する情報収集、情報交換、課題の抽出、そしてその解決法に着目し、最終年度において完成度の高い数理モデルで実態を推測できるかどうかの検証について都市部を代表する神奈川県をモデルに検討を行うための情報収集・意見交換を行った。

A. 研究目的

本研究は、本研究は、がん対策推進基本計画に定められている「がん対策の指標設定と進捗評価」を円滑に進め、システムとして確立するとともに評価活動の継続的改善を行い、明らかになった課題の解決を目的としている。具体的には、がん登録データから対策進捗指標としての全国値の算出を行うこととし、単なる指標設定から測定という流れだけでなく、数理モデルによる罹患率・死亡率の予測を活用して施策の優先度の検討や、がん対策基本法に都道府県がん対策推進計画を策定・実施することが定められている都道府県との連携などの発展性についての提言を行うことを目指した。神奈川県は、首都東京に隣接する人口約 900 万人と日本最大級の自治体である。地域がん登録は 1970 年から整備されており、推計が実行可能であるだけでなく、横浜市といった人口 370 万人以上の大都市がある一方、県西部は人口の過疎化が問題となっている山村地帯を要する。こうした特徴を持つ神奈川県のがん対策の評価や効果推定など、応用可能性や継続性について検討することは、我が国の高齢化に伴うがん対策のシミュレーションを実装することに他ならず、有益である。

B. 研究方法

県のがん対策推進計画の進捗管理では、施策を作成した行政が、自己評価する仕組みが長く続いており、客観的な指標やロジックモデルなどによる可視化ができていない。こうした事例を研究班で共有し、その進捗評価の改善案を示した上で、国のがん対策進捗評価の有効な連携方法を検討した。また、優先順位の高い「乳がん」、「大腸がん」を事例として数理モデルを用いたがん対策進捗評価と目標値設定を設定が可能か否か情報交換を行

った。

C. 研究結果

数理モデルを用いて科学的に算出した数値のみを県の担当者に伝えるだけではなく、現場のがん対策担当者（行政）と一緒に議論し、対策の糸口となるような解釈も含めて話し合いをしていくことで、より効果的で科学的根拠に基づいたがん対策を講じることが可能となることが示唆された。

D. 考察

がん対策を担う行政の担当者は、他県のがん対策指標に関する進捗評価や、アップデートに研究者の視点をどのくらい参考にしているのか、がん対策進捗評価の高い自治体との情報収集・意見交換の場が必要である。

E. 結論

地域の実情に合わせたがん対策を策定するためには専門家との連携が不可欠である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

・片山佳代子. 神奈川県のがん対策—がん対策推進計画第3期に向けて—. 予防医学. 2017; 第59号, 25-29. ・片山佳代子. 神奈川県のがん統計 ～がん登録はがん対策の羅針盤～. 公益財団法人神奈川県予防医学協会健康かながわ. 第587号, 2017年2月号 B4-1.

・片山佳代子. がん対策としてのがん教育と学校

教育での実践と課題～何を考えさせ、生徒児童に何を伝えるのか～. 公益財団法人神奈川県予防医学協会健康かながわ. 第 616 号, 2017 年 7 月号 B4-1.

• Furugori M, Sato-Aasai M, Katayama K, et al., Short and long-term complications and the impact on quality of life after cervical conization by harmonic scalpel. J Obstet Gynaecol Res. 2017; 43(4):749-757.

• Nakamura S, Narimatsu H, Katayama K, et al., Effect of genomics-related literacy on non-communicable diseases. J Human Genetics (JHG).2017 ;62(9):839-846. doi:10.1038/jhg.2017.50.

• 片山佳代子. がん教育の現状と課題:Vol.9「神奈川県のがん教育と今後の展開」. 医学のあゆみ. 2018 ; Vol.267, nos.11,12. 868-870.

• Suketomo YH, Katanoda K, Kawamura Y, Katayama K, et al., Children's Knowledge of Cancer Prevention and Perceptions of Cancer Patients: Comparison Before and After Cancer Education with the Presence of Visiting Lecturer -Guided Class. J Can Education. 2019 Dec;34(6):1059-1066. doi:10.1007/s13187-018-1408-7.

• 齊藤真美、松田美香、高橋将人、片山佳代子、阪口昌彦、田中里奈、松坂方士. 北海道と神奈川県における乳がんの罹患数の将来推計と医療施設および医療従事者の配置の検討. JACR Monograph No.24. 2019 ; 24-35.

2. 学会発表

• Katayama K, Suketomo-HY, Yuasa M, Kawamura Y, Horinouchi H, Katanoda K, Saito K. Cancer education in Japan and its effects on the cancer knowledge and awareness of children and their guardians. International Cancer Education Conference. Sep 2017, Cleveland, Ohio, USA.

• Suketomo-YH, Katayama K, Oura A, Saito K. Diffusion of cancer prevention information through community health education programs using a learning partner model in Japan. International Cancer Education Conference. Sep 2017, Cleveland, Ohio, USA.

• 中村翔、阪口昌彦、片山佳代子、成松宏人. 希少がんの死因分析. 第 76 回日本癌学会学術総会(横浜) 2017 年 9 月.

• 竹内恵美、藤澤大介、土屋雅子、助友裕子、片山佳代子、宮脇梨奈、深町花子、井寺奈美、吉田沙蘭、高橋都. がん関連ステイグマに関する尺度の系統的レビュー. 第 30 回日本サイコオンコロジー学会 (品川) 2017 年 10 月.

• 片山佳代子, 扇原淳, 助友裕子. 大学生を対象としたがんの知識とヘルスリテラシーとの関連. 第 76 回日本公衆衛生学会総会 (鹿児島) 2017 年 10 月.

• Saruki N, Moki F, Aikyo K, Ito Y, Matsuzaka M, Katayama K, Ito H, Teramoto N, Katanoda K, Matsuda T. CANCER REGISTRY DATA AS A MEANS OF COMMUNICATING WITH PATIENTS - JAPAN CANCER INFORMATION PARTNERSHIP -. IACR 2017 (International Association of Cancer Registries) Utrecht, Nederland

• 齊藤真美、松田美香、高橋将人、片山佳代子、阪口昌彦、田中里奈、松坂方士. 北海道と神奈川県における乳がん罹患数の将来推計と医療施設および医療従事者の配置の検討. 第 27 回日本がん登録協議会学術集会 (沖縄) 2018 年 6 月.

• 片山佳代子、阪口昌彦、中村翔、今井香織、夏井佐代子、成松宏人. がん患者の死因の種類別・死亡場所に関する研究. 第 27 回日本がん登録協議会学術集会 (沖縄) 2018 年 6 月.

• 片山佳代子. 「全国がん登録から考える日本のがんの現状と対策～神奈川県からの報告」. 第 78 回日本公衆衛生学会総会シンポジウム 22. (高知市) 2019 年 10 月.

• Ito Y, Kanoh A, Yuasa M, Saran U, Satyajit Rout, Ito H, Katayama K, Katanoda K, Matsuda T, Saruki N. Challenge in translating information about cancer survival to general people: sharing messages for cancer survivors using statistics of conditional survival. NAACCR/IACR Combined Annual Conference 2019. Canada.

• Katayama K, Ishikawa D, Sakaguchi M. Cancer education support project: Spread of cancer education in Japan based on web search. 12th European Public Health Conference, November 2019 Marseille.

• Katayama K, Sato Asai M, Ogihara A, Suketomo YH. Development and validation of a peer education program for cervical cancer prevention. EUROGIN 2019. International multidisciplinary HPV congress. December 2019. Grimaldi Forum, Monaco.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし